

2011年度 東海 YFE 工場見学会

見学先：「関鍛冶伝承館」、「岐阜県機械材料研究所 ぎふ技術革新センター」

平成 23 年 6 月 9 日(木)9:00～16:00、岐阜県関市にある「関鍛冶伝承館」と「岐阜県機械材料研究所 ぎふ技術革新センター」において、2011 年度東海 YFE 工場見学会を開催した。当日の参加者は、新規入会企業 1 社(2 名参加)を含め 30 名の参加者があった。

関鍛冶伝承館では、日本刀鍛錬のデモと日本刀にかかわる伝承館の見学を実施した。日本刀鍛錬のデモは、参加者の目の前で折返し鍛錬が実演され、火の粉を散らす様子に参加者は息をのんでいた。「あいづち」という言葉は、師が打つ小槌の合図に合わせ、弟子が向かい合い大槌を打つ様から出来た言葉だそうだ。参加者が大槌を持ち、相槌を逢わせながら実際に折返し鍛錬を体験することができた。

鍛錬の最中には日本刀作製の流れの説明を受けた。その中で、よく切れる、曲がらない、折れない日本刀を作るためには刃先、芯金(内部)、棟(後部)、鎚(側面)で鉄の性質を変える必要がある。原材料を選定するのも職人のノウハウである。

伝承館内には様々な日本刀が展示されており、反り具合、刃模様様々な種類があり日本刀の奥深さを堪能した。

岐阜県機械材料研究所—ぎふ技術革新センター—では、柴田所長による研究所及びセンターのご説明をしていただいた。その後、炭素繊維複合材料 CFRP、医療機器、セラミックス、機械金属を対象とした約 40 台の最先端設備の現物を見ながら装置説明していただいた。

最後に、工場見学開催にあたり多くの方々に、ご支援・ご協力を頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、これを機に casting 工学会東海支部の活性化につながることを願っています。

(株式会社豊田自動織機 小原 卓)



図1 日本刀折返し鍛錬



図2 日本刀が出来るまで



図3 岐阜県機械材料研究所